

「二子玉川ライズ」に知の拠点

東京都市大が開設

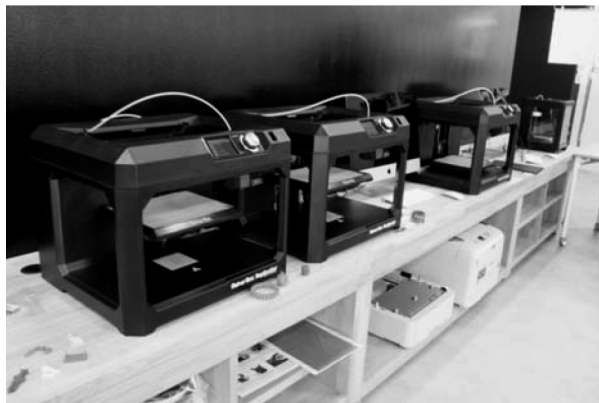
地域も活用

東京都市大学は1日、東京都世田谷区の再開発ビル群、二子玉川ライズのオフィス棟8階に「二子玉川夢キャンパス」を開設した。大学の授業を行うだけでなく、子供たちに科学の楽しさを伝えるイベントや地域・産業界が抱える課題を解決するための活動などを展開する。

新キャンパスの敷地面積は約574平方メートルで、最大座席数は180。平日10時～19時、土日10時～16時の利用時間内なら出入り自由。

夢工房と呼ぶ空間には3Dプリンターを設置し、誰でも利用できる。またオフィス内の立地を生かし産学連携も強化する。

オープニングセレモニーでは先行事例として、キックコーマン飲料と同大女子学生が共同開発した飲料水「花つぼみ」のパネル展示が行われた。三



木千壽学長は「このキャンパスを多くの人の夢をかなえる場に、グループ学園歌のタイトル『夢につばさを』を実現した」とあいさつした。

同キャンパスの開設は創立100周年に向けた中長期計画「東京都市大学アキシヨンプラン2030」の一環。

▲……………

二子玉川夢キャンパス
夢工房内の
3Dプリンター